

R7 学校関係者評価 自己評価書

令和7年度 自己評価書及び学校関係者評価書

令和8年3月5日
札幌市立手稲西小学校

1 本年度の重点目標

本校の教育目標である「知・徳・体の調和のとれた 人間性豊かな子どもの育成」のもと、<わかる・できる・楽しい授業> <相手意識、「自分のことは自分で守る」> <キャリア教育を意識して> <基礎体力・俊敏性・体の柔軟性の向上> <子どもの応援体制確立を目指す>の5つの柱を目標に子どもたちの成長を促していく。

2 本年度の経営方針

まずは、目指す教師像<魅せる教職員…「UP DATE」する教職員>を掲げ、①根底に子どもの「自立・自律」を促すこと、②子どもの声を聴くこと、そして、③どの活動においても大切にすることとして、「話す・伝える」ことの意識と対話、挨拶、遊び心を大事にすることで、すべての子どもの可能性を引き出していく。また、コミュニティスクール2年目として、中学校との連携をより強いものにしていく。

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学年・学級経営の充実	学年担任としての意識をもち、多角的に児童を見取り、一人一人のよさを認め、伸ばし、自己肯定感や自己有用感を育てることができた。	A	1クラスの学年があることで、戸惑いもあったが、ブロックや各部のサポートもあって、全体で児童を見とる意識をいっそう高めることができた。今後も引き続き、自己肯定感や自己有用感を育てる活動を、さらに考えていきたい。	A	A
	学年合同の学習や体験的な活動を通じた学習、専科指導を行うなど、効果的な学習となるように取り組んでいる	A	校外学習や出前授業などを活用し、体験的な活動を通して学習を深めることができた。専科についても、専科教師と担任との間で情報を共有し、効果的な取組がみられた。これからも、体験を通して学びが実感できるような学習に取り組んでいきたい。	A	A
学校関係者評価委員による意見	来年度は、学年別の学年が増えるようであるので、学校全体でカバーしていく体制をより一層強固に行かなければならないと思う。共有を大切に！ ・評価項目や改善の方策に数値や具体的な内容を表現されると、事後評価の際に、客観的にしやすくなるのではないだろうか。(参考まで、他項目も同様) ・1学年1クラスの部分など、大変なこともあったとは思いますが、非常によく取り組まれていると思います。				
学び力の育成	ICT等を活用し、学びへの意識をもたせ、主体的に学びに向かおうとする子どもを育てる授業作りを行うことができた。	A	今年度も研究部を中心に、共通の課題意識をもって授業づくりに取り組むことができた。デジタル教科書の活用やそのための研修を進め、活用がいつう広がってきた。さらにICTを活用して授業づくりを行っていく。	A	A
	課題探究的な学習や体験的な活動を通して、分かる・できる・楽しい授業実践を行うことができた。	A	主体的な子どもの姿を「問いを生み出す授業」を合言葉にし、どのようなかわりが必要なのか授業実践をもとに考えることができた。「問い」を大切に授業づくりをさらに進めていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	分かる、できるなど楽しい学びにはつながらないと思うので、ICTの活用や主体的に学ぶ意識を高めて授業づくりを期待しています。 ・学力化の意識を。 ・デジタル化、とても大切だと思いますが、その一方で怖さもあると思、その辺の教育も。 ・白頭を離れる子どもたちを見ている手も、そのように感じます。				
豊かな心の育成	挨拶や感謝の気持ち、他を思いやる心や助け合う心を育み、互いに信頼できる人間関係を育むことができた。	A	生活3本柱の1つである「挨拶」を重点項目として取り組んできた。職員全体で日々挨拶の大切さを子どもたちに伝え続けたことで成果が見え始めた。中学校の生活3本柱とも連携して、よりつながりのある指導を行ってきたい。	A	A
	子どもたちが、将来、社会的・職業的に自立するための基盤となる資質・能力を育てることができた。	A	幼稚園や保育園、中学校との接続を意識した取組が進められた。行事や児童会活動を通して、学校全体のことを考えながら協力して自分たちの活動に取り組む姿が見られた。「子どもの声を聞く」ことをさらに進め、力を伸ばしていきたい。	A	A
学校関係者評価委員による意見	・学連協でも話題になったが、入学前の子どもたちがもってほしい力も以前とは変化してきている感じがする。うまく連携していけるといい。子どもの自立を促すことができる保護者を増やしたいです。 ・挨拶はとても必要だと思います。誰にでも明るく挨拶するのか、ある程度、人を選んで挨拶するのか。 ・挨拶が非常に良くなったように感じます。				
健やかな体の育成	教科体育の充実を図り、なわとび活動などの取組を通して、子どもたちの体力の向上に努めることができた。	A	ロープジャンプ大会を通して、体育や休み時間に日常的に練習するなどの姿が見られた。また、今年度から一新した縄跳びカードで、日常的な取組を推進することができた。外部の力なども借りながら、体力向上を目指していきたい。	A	A
	食べることの大切さを実感させ、「食」への意識が高まるような食育の充実にも努めることができた。	A	計画的に「食」への指導や児童や保護者への情報提供が継続して行われた。お弁当給食や栄養教諭による授業を通して、各教室で児童に「食」について考えさせることができた。食を通じた健康教育をさらに進めていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	・健やかな体は心や学びにも大きく影響すると思います。すぐに結果は出ない活動かもしれませんが、取組の継続を促していくといいと思います。 ・体力向上にこれからも期待したいと思います。				
信頼される学校	参観授業や懇談の内容を充実させ、生き生きと活動する子どもの姿を知らせるとともに、家庭と連携して子どもを育成することに努めることができた。	A	学校だよりを中心とした様々なお便りや連絡、参観や懇談などを通して、手稲西小の教育活動について伝えるとともに、情報を保護者と共有することで保護者への理解を深めた。	A	A
	各種お便りやホームページなど、積極的にわかりやすい発信に努めることができた。	A	情報が保護者に正しく伝わるよう、情報の整理を心掛けてきた。わかりやすい情報発信とともに、保護者の必要としている情報の素早い提供についても工夫していきたい。	A	A
学校関係者評価委員による意見	保護者からも高い肯定をもち、情報発信がうまく機能していると思います。昨今の緊急対応を求められる件(クマ、大雪など)では、苦勞が多いと思いますが、素早くて確かな対応を組織的に行うことが求められると思うので。 ・評価はAとしましたが、記入内容表現が、ごく普通の内容になっているので、工夫や目新しいところ、具体的な成果がわかりやすく、読む人に伝わる工夫を期待します。 ・保護者、地域への情報、対応が非常に良い。				
いじめ対策	いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けて、学校としての基本方針に基づき、教職員の共通理解のもと組織的かつ計画的に取り組むことができた。	A	個々の事案については、解決への道のりが厳しいものもあったが、学びの支援部を中心に、情報を共有し、組織的に未然防止、早期発見、早期対応を心掛けて取り組むことができた。今後も、小さな芽のうちから摘んでいくことを心掛けて指導を行っていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	・改善の方策に係れていることに尽きると思います。複数の目でも気になる点も情報共有して対応してほしいと思います。 ・的確に対応している。				
小中一貫した教育	研修や交流を通して、学習指導や生活指導において、グラウンドデザインに基づきながら、系統性や連続性を意識した教育活動を進めることができた。	A	今年度も定期的に研修や交流を行うことができた。活動を重ねることで、互いの教育活動について理解を深めるとともに、連続性を意識して、取組を進めることができた。CS3年目となる次年度は、連携がより深くなるように取り組んでいきたい。	A	A
学校関係者評価委員による意見	・少ない人数なので、無理なく継続できることを進めてください。 ・中学校との連携がとても良いと感じます。				